

平成 29年度 奈良県がん診療連携拠協議会 分科会実績・予定
相談支援分科会

分科会開催日	<p>【開催済】 平成 29年 6月 1日 (木)</p> <p>【予定】 平成 29年 9月 7日 (木)</p>
H29 実績・予定	<p><u>就労相談の実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各医療機関で社会保険労務士による就労相談を実施 ○長期療養者就職支援事業(がん・肝炎・糖尿病の長期療養者)ハローワーク職員による就職支援の相談日・時間の見直しを行い、利用者の増加に取り組んでいる。(奈良医大) <p><u>患者サロンの運営の活性化や参加者増加への取り組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○患者サロンの運用状況と問題点の確認 ○患者サロンカレンダーを作成し、院内掲示やホームページ、「がんネットなら」で周知 <p><u>県内の相談員のスキルアップ</u></p> <p>【予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○がん相談員従事者研修会の開催 ○患者会や患者団体が開催する交流会・集会などに参加(リレーフォーライフなど) ○地域相談支援フォーラム in 近畿 平成 30年 2月 17日 (土) 奈良県・和歌山県が主体となり開催 テーマ「より良い相談支援のための院内連携と協働」 ○がん相談支援センター相談員指導者研修〔国立がん研究センター〕への参加(奈良医大・近大奈良・天理よろづより 1名ずつ参加) ○小児がん相談員専門研修〔国立成育医療研究センター〕への参加(奈良医大) ○小児がん相談員研修〔近畿ブロック小児がん拠点病院相談支援部会主催〕への参加(奈良医大)

平成 29 年度 奈良県がん診療連携拠点協議会 分科会実績・予定
院内がん登録分科会

<p>分科会開催</p>	<p><u>院内がん登録分科会</u></p> <p>○平成 29 年 9 月 メールにて開催（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会報告 ・ 第 1 回がん登録研修会開催報告 ・ 情報提供
<p>H29 実績・予定</p>	<p><u>がん登録データの集計および分析</u></p> <p>○各拠点病院のがん登録データの収集・分析 →保健予防課へデータ提供依頼中 （参考）【都道府県拠点病院の指定要件】 「当該都道府県の院内がん登録のデータの分析・評価等を行っている」</p> <p><u>院内がん登録分科会 がん登録研修会</u></p> <p>○第 1 回 日時：平成 29 年 9 月 3 日（日）13:30～17:00 共催：奈良県がん対策推進協議会がん登録部会 奈良県がん診療連携協議会院内がん登録分科会</p> <p>第 1 部「高精度のがん登録データから効果的ながん対策へ」 講 師：国立がん研究センター 全国がん登録室長 松田 智大氏</p> <p>第 2 部「膵臓癌・胆道癌について」（仮） 講 師：奈良県立医科大学附属病院 消化器外科教授 庄 雅之氏</p> <p>○第 2 回 日時：平成 30 年 2 月ごろ（予定）</p>

平成 29 年度 奈良県がん診療連携拠協議会 分科会実績・予定
地域連携分科会

<p>分科会開催日</p>	<p>平成 29 年 7 月 10 日（月）</p>
<p>H29 実績・予定</p>	<p><u>地域連携分科会の実施</u> ○テーマ：地域連携分科会の目標及び今年度の実施計画</p> <p><地域連携分科会の目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに全がん統一パスの作成 ・ICT 活用についての情報収集と検討 <p><地域連携分科会の今年度の計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、分科会は随時開催予定 ・全がん統一パスの完成と運用 ・ICT 活用について分科会の意見をまとめる <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存する5大がんパスについては現状のまま運用を継続していく ・次回分科会では地域連携体制についても検討予定 <p>（詳しくは別紙を御参照下さい）</p>

2017.8.

平成 29 年度 奈良県がん診療連携拠点協議会 地域連携分科会報告

今年度最初の地域連携分科会を、平成29年7月10日(月)奈良県立医科大学蔵書会館で開催いたしました。都道府県がん診療連携拠点病院、がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、奈良県地域がん診療連携支援病院、奈良県医療政策部保健予防課の代表者15名に集まっていたとき、昨年度行われた新たな「奈良県がん対策推進体制」をはじめ、第2期奈良県がん対策推進計画での地域連携分科会についての課題説明を行い、全体で情報の共有を図りました。

その後、第2期奈良県がん対策推進計画の今年度の活動について検討いたしました。テーマは「地域連携分科会の目標及び今年度の実施計画」です。事前に各拠点病院からテーマに関してのご意見を頂きました。

各医療機関からの意見は、5大がんパスの件数増加、緩和ケアを必要とする県統一の患者情報共有ツールの作成、がん診療に対する地域連携体制の状況把握、5大がんパス連携先の増加、パスの見直しと改正、緩和ケア情報共有ツールの作成等があげられました。

これらの意見をもとに、疾患別地域連携パスの件数が伸び悩んでいる状況から、まずは全てのがん統一の情報共有書を新たに作成し、運用することで疾患別地域連携パスの運用増加につなげていく事になりました。また、近年ICTを導入する地域が増加しており、がん疾患の地域連携もICTを活用する事で、より切れ目なく迅速かつ効率的に適切な地域連携を目指す事ができるとの見解から、ICT活用についての検討も今年度の目標といたしました。

<今年度の地域連携分科会としての活動>

○地域連携分科会の目標

- ・新たな全がん共通の情報共有書の作成
- ・ICT活用における情報収集と検討

○地域連携分科会の今年度の計画

- ・新たな全がん共通の情報共有書の作成については、素案を2医療機関で担当し素案をもとに協議する予定です。9月に素案作成し10月に各拠点病院へ素案を配信して原案を完成させて11月の奈良県がん診療連携協議会に情報共有書を提案する予定です。
- ・ICTの活用については現状についての情報収集を行い県全体での運用の課題調整につなげていきます。
- ・目標を達成するためには今年度開催する分科会は最低3回の開催が必要であり、次回は9月頃に開催する予定です。

※次回分科会では地域包括ケアシステムにおける奈良県の在宅医療・包括ケアの取り組みや地域連携体制の充実についても検討する予定です。

以上

平成 29 年度 奈良県がん診療連携拠協議会 分科会実績・予定
化学療法分科会

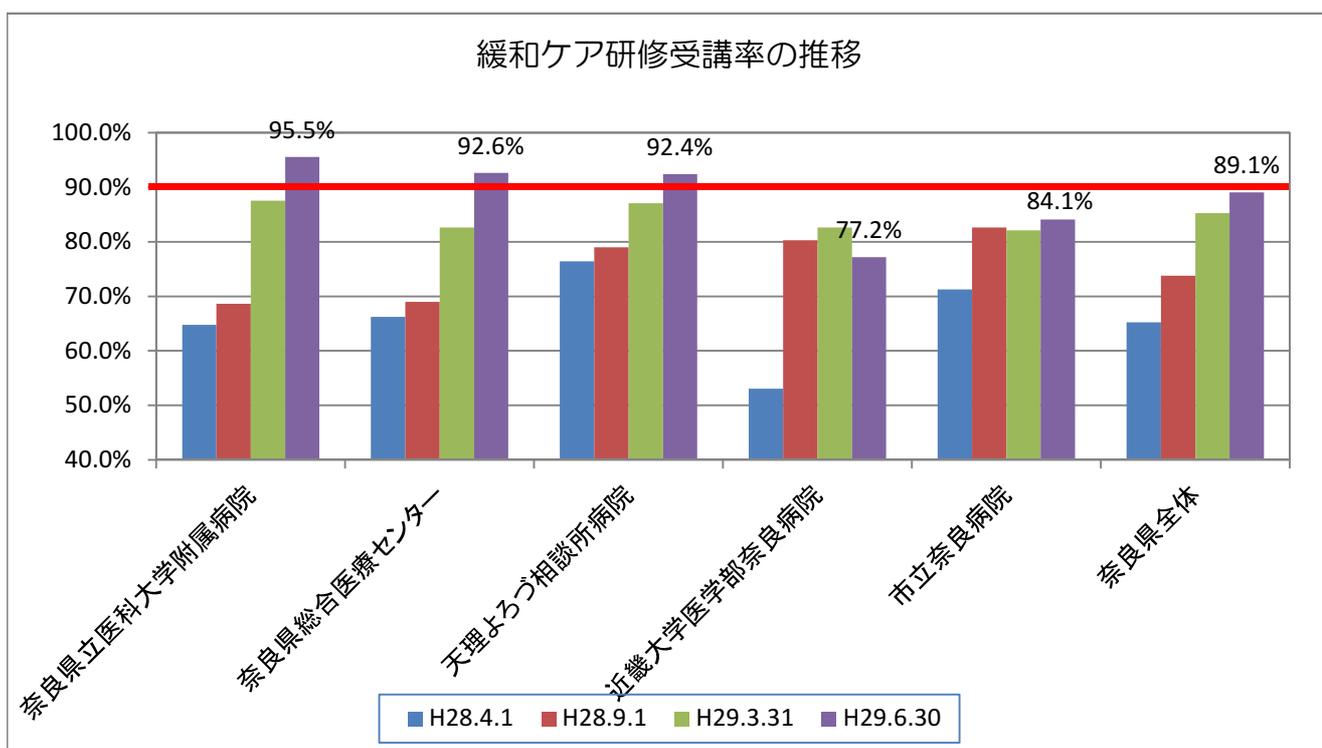
<p>今年度の取組</p>	<p><u>拠点病院および支援病院間で多地点 web カンファレンスを実施</u></p> <p>【開催済】 平成 29 年 5 月 18 日（木） テーマ「3 個の肝転移を伴う HER2 陽性胃体部癌 ；SP+トラスツズマブ療法後の治療選択」</p> <p>【予定】 平成 29 年 8 月 24 日（木） ※南奈良総合医療センター参加予定。</p> <p><u>がん化学療法医療チーム研修会の開催</u></p> <p>日 時：平成 29 年 11 月 26 日（日） 場 所：奈良医大 巖櫃会館 参加者：県内のがん化学療法医療チーム 目 的：がん化学療法医療チームが患者の背景を踏まえて、チーム医療を円滑に行うことを目的とし、チーム別グループワークや職種別グループワークを取り入れ研修会を実施する。 ※近日募集開始</p>
<p>その他</p>	<p>●分科会の委員を中心に行っている自主研究グループ「奈良がん医療研究会（まほろば塾）」を年 2 回、継続して開催する予定である。</p>

平成 29年度 奈良県がん診療連携拠協議会 分科会実績・予定
緩和ケア分科会

H29 実績・予定	<p><u>拠点病院の緩和ケアにかかる取組の中で 必須要件となる取組の実施</u></p> <p>○まほろば PEACE 緩和ケア研修会 計9回 (県内拠点病院、地域がん診療病院、支援病院で開催) →平成 29 年 6 月末時点での受講率達成状況に ついては、別紙 1 参照</p> <p>○がん性疼痛管理を中心として緩和ケアに関する研 修会(病診連携)の開催</p> <p>○緩和ケア普及啓発(県民公開講座等)の実施</p> <p>○拠点病院の緩和ケアチーム研修会の実施 (奈良医大で開催)</p> <p>○地域におけるがん看護研修会(緩和ケア編)の実施 (奈良医大で開催)</p> <p>→<u>県内の研修会一覧は、別紙 2 参照</u></p>
-----------	---

「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」受講率達成状況について

医療機関	1. 平成29年6月30日現在						
	I			II			III
	がん診療において、 がん患者の主治医や 担当医となる者(名)	うち、 当該研修会修了者数(名)	受講率(%)	初期臨床研修2年目から 初期臨床研修修了後3年目まで の全ての医師(名)	うち、 当該研修会修了者数(名)	受講率(%)	院長の受講 (有・無)
奈良県立医科大学附属病院	223	213	95.5%	175	123	70.3%	有
奈良県総合医療センター	81	75	92.6%	34	31	91.2%	有
天理よろづ相談所病院	118	109	92.4%	77	56	72.7%	有
近畿大学医学部奈良病院	149	115	77.2%	14	14	100.0%	有
市立奈良病院	69	58	84.1%	23	12	52.2%	有
奈良県全体	640	570	89.1%	323	236	73.1%	



平成29年度 奈良県がん診療連携協議会（緩和ケア分科会） 取組実績・予定

◆がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会（原則必須）

医療機関名	内容
奈良医大	H29.11.19「在宅緩和ケア地域連携研修会」 在宅療養支援診療所の医師や看護師等に対し、緩和ケアに関する知識と技術の研修を行う。
奈総医セ	地域の医療従事者や福祉職らと共にごん患者の意思決定や地域連携の問題を検討する症例検討会の開催。 H29.5.18、H29.7.6 は症例検討会、H29.11.9 は研修会プラス症例検討会を開催予定。
天理よろづ	「在宅緩和ケア地域連携研修会」を開催（日程未定） 緩和ケアチームと在宅緩和ケアを専門とする医師等による、緩和ケア及び病診連携に関する研修会を開催する。
近大奈良	平成29年7月20日（木）、11月（予定）、平成30年2月（予定）に年3回「生駒緩和医療研究会」を開催。 二次医療圏内を対象に緩和ケアに関する研修会を開催する。
市立奈良	①「緩和ケアにおけるせん妄対策（仮題）」として講師を招聘し、地域関係機関職員および院内職員を対象に研修会を開催（秋頃予定）
	②当院緩和ケアチームと在宅緩和ケアを専門とする医師等による緩和ケアに関するスムーズな連携と疼痛管理を中心とした研修会の実施（H30.1月ごろ予定）

◆緩和ケアの普及啓発（県民公開講座等）について（必須要件）

医療機関名	事業内容
奈良医大	H30.2.25 緩和ケアに関する県民公開講座（@済生会中和病院）を開催する。 共催：済生会中和病院（予定）
奈総医セ	H29.11.11に県民公開講座を開催。 一般の方を対象とした、治療期からの緩和ケア、がん治療方法等の講演を行い、がんに対する普及啓発及び情報提供を行う。
天理よろづ	H29.6.8「乳がんってどんな病気？（緩和ケアを含む）」 一般市民対象に公開講座を開催（参加者49名）
近大奈良	29年10月（予定）に年1回「市民公開講座」（テーマ未定）を開催。 一般市民を対象に緩和ケアをテーマとして開催する。
市立奈良	地域住民等を対象として緩和ケアに関する公開講座を開催。（日程未定）

◆当該都道府県においてがん診療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等に対する研修の実施について（必須要件）〔奈良医大のみ〕

医療機関名	事業内容
奈良医大	H29.9.16「地域におけるがん看護研修会（緩和ケア編）」 「看護の現場で直面する倫理について考えよう」をテーマに、県内の看護師を対象とした研修会を開催する。
	H29.10.29「奈良県緩和ケアチーム研修会」 県内の緩和ケアチームに対する研修会を開催する。

奈良県内放射線治療施設 関係各位
奈良県がん診療連携協議会 放射線療法分科会 について

平成 24 年 3 月から、県内の放射線治療施設の皆様にご協力いただき、奈良県放射線治療地域連携協議会をメール会議主体で開催して協力体制を強化してきましたが、平成 28 年度に、がん診療連携協議会に放射線療法分科会を新設し、放射線治療に関する取組をさらに強化することが決定されています。

現段階の分科会委員（案）は以下のとおりです。何卒、よろしくお願い申し上げます。（今後も、メール会議を主体にして協議を行う予定ですので、ご理解の程よろしくお願いいたします。）

奈良県立医科大学附属病院 放射線治療・核医学科
長谷川正俊

平成 29 年 7 月 1 日現在委員	(敬称略)
奈良県立医科大学附属病院 放射線治療・核医学科	長谷川正俊
奈良県総合医療センター 放射線科	堀川典子
天理よろづ病院 放射線部	根来慶俊
近畿大学奈良病院 放射線科	岡嶋 馨
済生会中和病院 放射線科	橋本泰年
高井病院 放射線科	井上和也、長友 康
高田市立病院 放射線治療科	横川正樹
市立奈良病院 放射線科	八巻香織

大和郡山病院は、平成 28 年 12 月までで放射線治療を終了しています。
奈良医療センターは、平成 29 年 3 月までで放射線治療を終了しています。

さて、早速ですが、以下について、ご意見および情報提供をお願いできればと存じます。恐縮ですが、ご回答、ご意見等を、原則として全員に返信をお願いいたします。ただし、異なる複数の治療（例えばリニアックとガンマナイフ等）を行われている場合には、複数の担当者が（別々に）ご回答いただいても結構です。

担当者が交代された施設におきましてはお手数ですが、転送をお願いいたします。

（個人情報、その他の理由で、全員に返信が不可の場合には、事務局担当、奈良医大の長谷川のみにご返信下さい。）

なお、前回議事録概要を添付させていただきました。

平成 29 年度 第 1 回 がん医療部会 放射線療法分科会 平成 29 年 7 月 12 日

本分科会では、県内の放射線治療状況等に関する情報を共有して、連携体制を強化し、県民により適切ながん診療を提供することができればと考えていますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

1) 放射線療法分科会について

- ・分科会の活動、委員の構成、その他についてご意見等ありましたらお知らせ下さい。

2) 放射線治療の方向性について

県内の施設では、機器更新、増設が見られる一方で、放射線治療を終了する施設も散見され、放射線治療が均てん化から集約化へ多少シフトしつつある印象もあります。

- ・貴院の現在および今後の方向性についてお知らせ下さい。
- ・県内の放射線治療のあり方、連携等についてご意見がありましたらお知らせ下さい。

3) 貴院の現状について、その他について（可能な範囲で、適宜）ご回答下さい。

1. 連携担当責任者、をお知らせ下さい。

病院名 :

氏名 :

職位 :

連絡先 : 電話

FAX

e-mail

2. 放射線治療目的で患者さんを紹介する場合の窓口をお知らせ下さい。

連携担当責任者 ()
 放射線科(放射線治療科)外来 ()
 地域連携室 ()
 その他 ()
 連絡先等：

3. 現在以下の治療は実施可能ですか。他院からの依頼に対応可能ですか。

	実施の有無		他院依頼に対応可否		
	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
通常の外部照射	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
定位照射 脳	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
定位照射 体幹	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
強度変調放射線治療 前立腺	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
強度変調放射線治療 頭頸部	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
強度変調放射線治療 脳	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
強度変調放射線治療 その他	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
全身照射	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
他の特殊な外部照射 ()	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
なお、VMATも可ですか？	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
小線源治療 腔内 子宮	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
小線源治療 腔内 その他	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
小線源治療 組織内 前立腺	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
小線源治療 組織内 その他	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
メタストロン(骨転移)	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
ゾフィーゴ(骨転移) #	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
ゼパリン(リンパ腫)	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
ヨード(甲状腺癌)	はい	いいえ	はい	いいえ	その他
他の小線源治療 ()	はい	いいえ	はい	いいえ	その他

4. 貴院の、放射線治療担当者数はそれぞれ何人ですか。

<放射線治療医>

専従(治療8割以上) 名 (治療専門医 名)
 選任(治療5割以上、専従を除く) 名 (治療専門医 名)
 兼任(常勤だが治療は5割未満) 名 (治療専門医 名)
 非常勤(治療担当) 名 (治療専門医 名)
 <放射線治療担当技師> 名 (放射線治療専門放射線技師 名)
 <医学物理士> 名 (技師兼任でない専従の物理士 名)
 <放射線治療担当看護師> 名

5. その他：ご意見、協議すべき次項等がありましたらご記入下さい。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

奈良県がん対策推進協議会 がん医療部会 放射線療法分科会 事務局
 奈良県立医科大学 医学部 放射線腫瘍医学講座
 奈良県立医科大学附属病院 放射線治療・核医学科
 長谷川正俊 hasegawa@naramed-u.ac.jp
 TEL 0744-29-8908 FAX 0744-25-3434

議事録概要

- 1) 昨年度、2施設で放射線治療が終了となり、現在、8施設で放射線治療が実施されているが、均てん化から集約化へ多少シフトしつつある印象もある。特に高精度放射線治療が実施可能な施設は限定されている。
- 2) 強度変調放射線治療（IMRT）が4施設では標準的に行われている。
- 3) 強度変調回転放射線治療（VMAT）も4施設で行われるようになった。
- 4) 2施設ではIMRT、VMATの準備中である。
- 5) 塩化ラジウム223（ゾフィーゴ）による前立腺癌骨転移の治療も4施設で開始されている。
- 6) 一部の施設以外は連携して対応することが可能である。連絡体制も構築されている。
- 7) 奈良県総合医療センターでは、新病院にリニアック2台を設置中である。
- 8) 市立奈良病院では、リニアック1台を設置中である。
- 9) 高井病院では、陽子線治療装置を設置中である。なお、ガンマナイフが2018年3月～4月に一時休止予定である。